

事業実施主体等取組評価報告書（産地競争力の強化を目的とした整備事業）

（青森県 平成28年度）

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						メニュー③ (対象作物・畜種等名)③	成果目標の具体的な内容③	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考						
				計画時 (平成24年)	1年後 (平成26年)	2年後 (平成27年)	3年後 (平成28年)	目標値 (平成28年)	達成率			計画時 (平成24年)	1年後 (平成26年)	2年後 (平成27年)	3年後 (平成28年)	目標値 (平成28年)	達成率					計画時 (平成24年)	1年後 (平成26年)	2年後 (平成27年)	3年後 (平成28年)					目標値 (平成28年)	達成率	交付金	都道府県費	市町村費	その他
				弘前市	株式会社青研	果樹(りんご)	全出荷量に占めるブランド品の割合を1ポイント以上増加	33.0% (234.6 t /710.5 t)	37.3% (309.6 t /830.0 t)			41.5% (390.0 t /940.0 t)	46.0% (476.8 t /1036.6 t)	40.9% (380.6 t /930 t)	164.6%	【葉とらず】の認知度が高まり、ブランド品の割合は46%と目標を上回った。 全出荷量1,036.6 t ブランド品の出荷量476.8 t	果樹(りんご)					全出荷量に占める契約取引の割合を3ポイント以上増加	36.0% (255.8 t /710.5 t)	47.5% (394.2 t /830.0 t)	52.0% (488.8 t /940.0 t)					56.0% (580.5 t /1036.6 t)	51.0% (474.4 t /930.0 t)	133.3%	契約取引の割合は56%となり目標を上回った。 全出荷数量1,036 t 契約取引の出荷量580.5 t	集出荷貯蔵施設 建屋(延床面積2,216.8㎡) CA冷蔵庫(収容能力201.6t) 普通冷蔵庫(収容能力441.6 t) りんご内部品質センサー付選果機(年間処理量1,116 t)	415,260,000

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時(平成24年)	1年後(平成26年)	2年後(平成27年)	3年後(平成28年)	目標値(平成28年)	達成率				計画時(平成24年)	1年後(平成26年)	2年後(平成27年)	3年後(平成28年)	目標値(平成28年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
鶴田町	つがるにしきた農業協同組合	果樹(りんご)	輸出向け出荷量の増加	21.4 t	128.0 t	196.2 t	144.0 t	100 t	156.0%	輸出量は144 tで目標を達成した。	果樹(りんご) 上位規格品の割合3ポイント以上増加	43.3% (2,906t/6,712 t)	44.6% (3,262t/7,313t)	40.4% (2,923t/7,244t)	34.0% (2,562t/7,531t)	56.0% (4,704t/8,400t)	-73.2%	上位規格品の割合は目標を達成することはできなかった。	集出荷貯蔵施設 りんごカラー・内部品質センサー1台 りんご選果機 2条1基 氷温冷蔵庫(2室990㎡)	491,874,444	227,719,000	0	0	264,155,444	平成26年10月30日	・輸出向け出荷量について、氷温貯蔵の導入による商品品質の向上及び販促活動によって台湾向けの輸出量が増加し、目標を達成できた。 ・上位規格品の割合について、収穫期における多雨(8月後半に平年比261%)等の影響によって外観品質の低下が多発したため、目標を達成できなかった。 ・目標達成に向けた改善策として、気象災害の被害発生を防止・軽減するため、被害発生が予想される場合における生産者への迅速な臨時生産情報の発行・周知徹底、講習会等における生産者の意識啓発・注意喚起を徹底する。また、県との協力により、着果状況及び収穫適期に関する調査を行い、品質向上に活用する。	氷温冷蔵庫等集出荷施設の整備により、計画出荷が可能となり、出荷市場の評価も高まっている。 ・上位規格品の割合については、生産者の栽培技術指導や品質低下の一因でもある気象災害の防止対策の充実を図るなど努めてほしい。		

都道府県平均達成率	95.2%	総合所見	<p>○目標年度が28年度となっている2地区のうち1地区で目標を達成している。</p> <p>○目標を達成できなかった1地区(つがるにしきた農業協同組合(鶴田町))についての県の対応は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出拡大に向けた販売活動の継続のほか、生産者の栽培技術の向上や品質低下の一因でもある気象災害の防止対策の充実に向けた指導。
-----------	-------	------	---